

令和6年6月18日

熊本都市バス株式会社

上熊本車庫線における中扉を開けた状態で走行した事案についてのお詫び

この度、当社の路線バスが中扉を開けた状態で走行した事案が発生いたしました。

当該路線バスにご乗車されたお客様をはじめ、当社ご利用のお客様、関係の皆さまに多大なるご迷惑とご心配とおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今般の事態を厳粛に受け止め、乗務員に対して発車時の安全確認に対する指導・教育の徹底と保安装置の緊急点検を実施し、再発防止に向け全力を挙げて取り組み、信頼回復に努めて参ります。

本件については、関係当局に報告を行っております。詳細は下記のとおりです。

記

1. 発生日時

令和6年6月17日（月） 17時04分頃

2. 該当路線バス

上熊本営業所 16時53分発 壺井橋 経由 桜町バスターミナル行き 乗客人数0名

3. 発生場所

市役所前バス停～桜町バスターミナル間

4. 状況

17時04分頃、市役所前バス停を発車する際、乗車口扉（中扉）が開いている状態で発車し、次の終点桜町バスターミナルまで約800mを走行した。当時お客様は乗車されていなかった。

5. 原因

市役所前バス停において乗車・降車の取り扱いを行った際、降車客に気をとられ乗車口扉を閉じる操作を行わないまま発車してしまった。

通常は乗車口扉が開いているとアクセルインターロックの作動により発車ができないが、当該車両はその時点で運転士が誤ってスイッチを切っており作動しない状態となっていた。

6. 再発防止策

今般の事態を厳粛に受け止め、全運転士に対し発車時における扉操作及び確認の指導を強化し基本動作の徹底を図ります。

以 上